

子育て・教育

子育て支援施設

平成27年4月、子育て交流施設「あそびあむ」オープン。豊かな遊びを通じた学び、育ち、交流をコンセプトに、天候に左右されず、子どもと大人の

多世代が、ふれあい、ともに遊びを体験でき、子育てに関する相談や支援の情報提供などを行い、子どもの健やかな成長をサポートしています。

子育て中の親同士の交流や子育てに関する相談及び情報提供を行う子育て支援基幹センター並びに子育てひろばを4か所開設しています。



▲子育て交流施設「あそびあむ」



▲▼あそびあむ内観



▲子育てひろば「ひまわり」

▲子育てひろば「はっと」



▲子育て支援基幹センター

▲子育てひろば「さるなあと」

子どもなんでも相談窓口

平成28年7月、中総合会館に子どもなんでも相談窓口を設置。子ども、子育てに関する相談、支援窓口を集約し、妊娠期から出産・子育て期、学童期、18歳までの子どもに関するさまざまな相談に総合的に対応、保健センターや子育て支援基幹センターとも連携し、切れ目のない支援で子育て世帯を応援しています。

待機児童ゼロ

令和2年4月、本市で初めて待機児童が発生しました。市では、保育人材確保のため、職員の処遇改善を図る補助制度をはじめ、家賃補助や就労奨励金の給付事業など、就業促進に向けた市独自の多様な優遇措置を展開するほか、3号(0〜2歳)定員の見直しも含め、保育所や幼稚園の認定こども園への移行を促進しており、待機児童ゼロを維持しています。

子育て支援サービスアプリ「まいココ」

令和4年7月、子育て支援サービスアプリ「まいココ」運用開始。子育てにかかる不安感や負担感の軽減につながるともに、子育ての楽しさも感じ取ってもらいます。

令和6年2月1日の登録者数2,747名。

機能

- ①母子健康手帳
- ②子育て情報配信
- ③イベント等申し込み
- ④乳幼児健診予約
- ⑤各種教室・相談予約
- ⑥オンライン等子育て相談

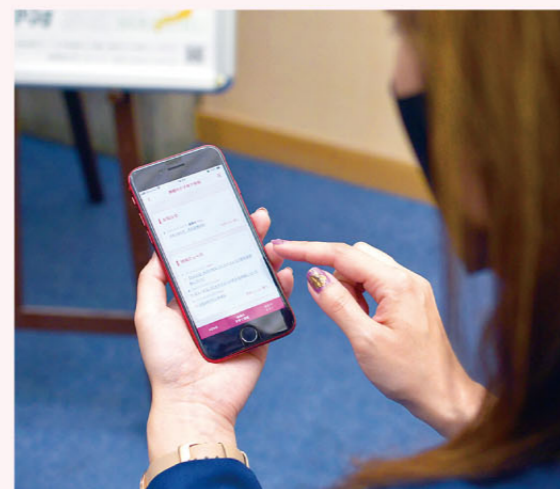


▲子どもなんでも相談窓口

区分	平成30年	令和5年
認可保育所数	16	4
幼稚園数	13	7
認定こども園数	0	17
計	29	28



▲子育て支援サービスアプリ「まいココ」



乳幼児教育・公立園の整備



▲昔の園舎(昭和8年)

平成26年、舞鶴幼稚園(現舞鶴こども園)創立130周年(明治17年開園)、現存する国立幼稚園では府下最古とされていました。



▲旧舞鶴幼稚園



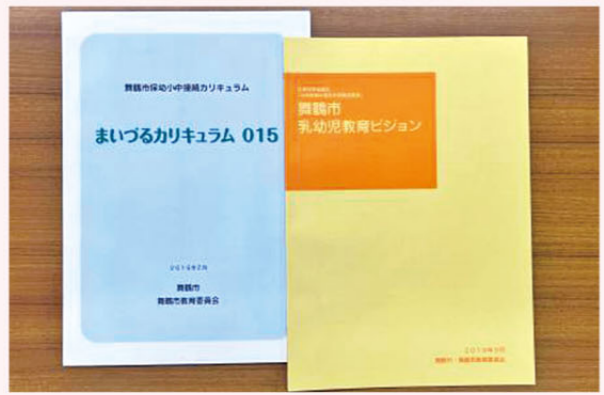
▲舞鶴こども園



▲西乳児保育所

先進自治体とされる本市の乳幼児教育の取組

乳幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。本市では、豊かな遊びを通じて、生きる力の土台となる子どもの主体性や自己肯定感をはぐくむ、乳幼児教育の充実に向けた取組を推し進めており、保育専門誌などでも先進事例として紹介されています。



▲接続カリキュラム(左)、乳幼児教育ビジョン(右)



▲公開保育



▲ドキュメンテーション(保育の可視化)

- 主な取組**
- ・文部科学省のモデル調査研究の採択を受け、乳幼児教育ビジョン策定(H28)
 - ・日本保育学会における事例発表(H28)
 - ・保幼小中接続カリキュラムの策定(H31)
 - ・乳幼児教育の質の向上に向け、公私の保幼小が連携、全市一体となった研修、公開授業・保育等の取組を展開

平成27年4月、東保育所、東乳児保育所及び南乳児保育所を統合し、うみべのもり保育所(定員150名)を開所しました。



(右上) 東保育所
(左上) 東乳児保育所
(左下) 南乳児保育所

平成31年4月、舞鶴幼稚園と西乳児保育所を統合し、市内初となる、公立の認定こども園(定員93名)を開園。同園に、本市の乳幼児教育の充実をめざして、京都市内初となる乳幼児教育センターを併設しました。



▲うみべのもり保育所



▲保育者研修会



▲乳幼児教育ビジョン推進事業報告書



▲タブレットを活用した授業



▲教諭の研修会



◀▼中学校給食の様子



平成26年度、全中学校でスクー
 ラランチ方式による給食実施。
 25年度から段階的に導入を始
 めたスクールランチ方式が全7
 中学校において完了、成長期に
 ある中学生に、安全・安心で栄
 養バランスのとれたおいしい給
 食を提供しています。

学校設立 150 周年

- ①中筋小学校（順正館）
 - ②余内小学校（立敬舎）
 - ③池内小学校（横山校）
 - ④福井小学校（福井校）
 - ⑤倉梯小学校（行永校）
 - ⑥明倫小学校（明倫校）
 - ⑦朝来小学校（登尾校、大波校）
 - ⑧高野小学校（陽明校）
- ※（ ）内は明治6年設立当初の学校名

令和5年、8小学校が学校設
 立150周年を迎えました。明
 治に入り、藩校から学校制度が
 導入され、学制が公布されたこ
 とを受け、本市では、明治6年
 に各地域に小学校が設立されま
 した。

学校給食

学校設立150周年

GIGAスクール構想

令和3年度、国のギガスクー
 ル構想に基づき、小中学生1人
 1台タブレットの本格的な運用
 開始。自分で考え、意見交流す
 ることにより、主体的・対話的

で深い学びの実現を目指す「舞
 ラーニング」の考えを基本に、「舞
 GIGAスクール推進計画」を
 策定し、教育の質をより良くす
 るための取組を推し進めています。



▲小中一貫教育の授業の様子

義務教育9年間を一つの連続
 した期間として捉え、子どもの
 発達段階に応じた一貫性のある、
 切れ目ない教育活動を小学校と
 中学校が連携・協力して行うこ
 とで、児童生徒の学力の充実と
 学校生活への適応を目指す小中
 一貫教育に取り組んでいます。

平成28年度に城北及び加佐中
 学校区からスタートし、平成29
 年度には青葉及び和田中学校区、
 平成30年度には白糸、城南及び
 若浦中学校区に導入し、全中学
 校区で小中一貫教育を実施して
 います。

学校教育・小中一貫教育

教育振興大綱

育てたい子ども像
 「ふるさと舞鶴を愛し、夢に向かって将来を切り拓く子ども」

小中一貫教育で目指すこと

- ①義務教育9年間を修了するのにふさわしい学力の定着
- ②豊かな人間性や社会性の育成
- ③小・中学校教職員の協働による9年間を見通した一貫性のある指導

主な概要

- ①中学校区共通の教育目標の設定
- ②義務教育9年間を見通したカリキュラムの編成
- ③小学校高学年からの一部教科担任制の導入、小・中学校教職員による乗入授業の実施
- ④児童生徒交流事業の実施
- ⑤市の特色を生かした学習活動の推進（ふるさと学習等）
- ⑥小中一貫教育推進のための組織の設置
- ⑦学校支援地域本部の設置や地域と学校との連携事業の実施など地域ぐるみの教育環境づくりの推進